

地域医療における大学病院の役割



平素より、先生方には多大なるご協力を賜り、また、多くの患者さんのご紹介を頂きまして、誠にありがとうございます。

久留米大学病院は筑後地域医療の中心として、最新の治療を提供する医療機関です。しかし、すべての患者さんに対してあらゆる高度先進医療を行うというものではありません。限りある医療資源をより適切に活用しようという方向を向く、それが、要としての久留米大学病院の役割でもあると考えています。これまでも、久留米大学病院では全国をリードする形で、末期心不全に対する緩和ケアを進めて参りましたが、患者さん及びご家族の状況を鑑みながら、引き続き高度医療・先進医療、そして緩和ケアの必要性を熟慮し、診療して参ります。

一方、大学病院は医学教育、臨床研修施設および大学院としての機能を併せもっており、臨床医の育成および次世代のリーダーを育てる使命を持っています。日本専門医機構が認定する「専門医」「それぞれの診療領域における適切な教育を受けて、十分な知識・経験を持ち、患者さんから信頼される標準的な医療を提供できる医師」、それはまさにこれまで久留米大学が行って参りました専門医教育であります。久留米大学で教育を受けた若い医師たちが近い将来、久留米地区の医療を支えてくれると期待しております。

今後とも、地域の先生方とともにこの久留米地区の医療を支えて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年 7月

副病院長
心臓・血管内科主任教授
福本 義弘

病院執行部体制

病 院 長	八 木 実
病院長特別補佐	志波 直人
副 院 長	鳥村 拓司
	上野 高史
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、^{いのち}生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

1. 患者中心の医療
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
2. 共生の医療
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
3. 高度で安全なチーム医療
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
4. 地域と共に歩む医療
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
5. 優れた医療人の育成
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS 1

地域医療における認知症医療ケアの必要性と久留米大学の取り組み

超高齢社会のわが国においては、国民の医療や介護が今後益々増加してくることが見込まれています。国は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。その中で認知症高齢者の増加も指摘されており、地域で安全・安心に暮らしていくためにも、認知症への対策は極めて重要な課題の1つです。

認知症対策は、いかに予防や早期発見・早期対応を行い、医療・介護との連携を図ることが不可欠です。残念ながら、認知症の症状を本人のみならず家族介護者の方が、「年のせい？まだまだ大丈夫？」と判断してしまい、受診が遅れることもあります。また認知症に気づかずに入院すると、転倒や睡眠覚醒リズムが乱れやすく、しばしば入院治療が長引いたり、治療の同意や十分な判断が出来ずに、身体疾患の治療が難しいと判断されてしまうこともあります。

久留米大学病院では、地域の医療機関のみならず、久留米市や地域包括支援センター・介護関係機関など、保健医療・介護機関等と密に地域連携を進めています。取り組みとして、久留米市の後援を受け、地域包括支援センターと協働で地域に出向き、もの忘れ予防検診を開催して早期受診に繋げています。また大学病院内に、もの忘れの専門外来（毎週木曜午後）を開設しています。当病院は福岡県認知症医療センターでもあり、その役割として、医療連携センター内に窓口を設け、認知症疾患に関する専門医療相談や鑑別診断とその初期対応、認知症による様々な行動・心理症状（BPSD）と身体合併症に対する急性期対応、地域保健医療・介護関係者など各職種向け研修会や合同研修会、市民公開講座などを開催しています。さらに認知症疾患を持つ様々な身体疾患の治療を目的で入院された方に対して、院内連携を強化し、認知症の専門医、老人看護専門看護師、精神保健福祉士などからなる認知症ケアチームが毎週水曜日午後に各病棟を回り、助言や相談に乗っています。

認知症の医療ケアは1つの病院で取り組むだけでなく地域でいかにお互いが協力し、「自助・互助・共助・公助」を推し進めていくかが重要です。いつでもお気軽にご相談ください。

久留米大学 高次脳疾患研究所
久留米大学医学部 神経精神医学講座
准教授 小路 純央



認知症医療センター研修会のご案内

本院は、平成23年11月15日に福岡県認知症医療センターの指定を受けており、認知症の診断・治療のみならず、地域における医療と介護のネットワーク推進や啓発活動に取り組んでいます。その一環として、地域の医療機関や介護施設、行政機関、地域包括支援センター職員等を対象に、認知症事例検討会や研修会等を開催しております。詳細や申し込み方法は、[久留米大学病院福岡県認知症医療センターのホームページ](#)に随時掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

平成30年8月31日(金) 【医療・介護従事者向け】

第14回福岡県認知症医療センター研修会

（会場：久留米大学筑水会館2階イベントホール）

平成30年9月18日(火) 【医療・介護従事者向け】

第19回認知症事例検討会

（会場：総合診療棟4階共同カンファレンス室）



TOPICS 2

がん患者の療養・就労両立支援の取り組みについて

今年度の診療報酬改定では、がん患者の治療と仕事の両立を目的とした「療養・就労両立支援指導料」及び「相談体制充実加算」が新設されました。

今や日本人の2人に1人は「がん」に罹ると言われる中、がん治療の進歩に伴い、働きながら治療を受ける患者さんは増加し、医療機関だけでなく、雇用側でも「治療と就労の両立」を目指した支援が求められているのが現状です。一方で、がん罹患後に離職をする方や通院中の体調変化により休職・離職を余儀なくされる方が多いのも事実です。一言でがん患者さんといっても仕事に関する不安や悩みはさまざまで、治療と仕事の両立支援を行うためにはひとりひとりに応じたきめ細かな対応が必要と考えます。

このような背景をもとに、久留米大学病院では、腫瘍センターが中心となり、院内・院外の体制を下記のように整備しました。当院は、診療だけでなく、治療と仕事を希望される患者さん一人一人が抱える問題が少しでも解決できるよう、その人らしい生活を続けていける体制づくりに貢献し、サポートしていくことを目指します。

【治療と就労に関する相談】

- 窓口は医療連携センター内の「がん相談支援センター」に設置しています

(相談料金は無料・予約は不要です)

がん相談員が主となり対面で相談を受け、院内の医師や看護師及びソーシャルワーカー等の医療従事者と連携を図ります

- がん相談員は福岡産業保健総合支援センターの両立支援促進員と連携します

(当院では、第2・4水曜日の9時～12時に開設しています)

(相談料金は無料・予約が必要です)

※がんと診断されても仕事を直ぐに辞めることなく、まずは、医療連携センター内にある「がん相談支援センター」へご相談ください

腫瘍センター

センター長 鳥村 拓司

The image shows two informational cards. The left card is titled 'がん、闘病中、その他 継続的な治療が必要な方へ' (For those with cancer, during treatment, or others who need continuous treatment). It asks '治療と仕事の両立のことで悩んでいませんか?' (Are you worried about balancing treatment and work?). It lists three points: '職場の理解・協力が得られない' (Can't get understanding/cooperation from workplace), '今後の働き方' (Future work style), and '会社への伝え方' (How to tell the company). It states '仕事をやめる必要はありません!' (You don't need to quit your job!) and lists two benefits: '治療を受けながら仕事を続けることが可能です。' (It is possible to continue working while receiving treatment.) and '働き続けることは生きがいにもなります。' (Continuing to work can be a source of happiness.). The right card is titled '専門家にご相談ください!' (Please consult with specialists!). It lists two points: 'あなたと会社(事業者・人事労務担当者など)との間の調整は、医療機関(主治医)と連携して支援します。' (We will support the adjustment between you and your company (business owner/human resources manager, etc.) in cooperation with the medical institution (attending physician).) and '治療にあわせた働き方を、私たちと一緒に考えていきましょう。' (Let's think about work styles suited to treatment together with us.). It then lists support centers: '福岡産業保健総合支援センター' (Fukuoka Industrial Health Comprehensive Support Center) with TEL: 092-414-5264 (平日9:30~17:00), '九州労災病院 治療就労両立支援センター' (Kyushu Ritsai Hospital Treatment/Work Balance Support Center) with TEL: 093-471-1121 (代) (平日8:30~17:15), and '門司メディカルセンター 治療就労両立支援部' (Monomi Medical Center Treatment/Work Balance Support Department) with TEL: 093-331-3461 (代) (平日13:00~17:00).

新任診療部長紹介

平成30年4月1日就任



教授
ひらき てるゆき
平木 照之

麻酔科

1. 大分大学（平成9年卒）
2. 神経麻酔、手術医学
3. 麻酔科が病院内で活躍する領域は、手術中の麻酔管理だけでなく、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアなど多岐にわたります。それぞれの領域は、近年、ますます高度化・多様化しています。十分な知識・技術・態度を備えた専門医を育成し、安全で質の高い麻酔科医療の提供を通して地域社会に貢献して参ります。

1. 出身大学（卒業年）
2. 専門の臨床領域
3. ご挨拶

平成30年4月1日就任



准教授
まつし ひろお
松瀬 博夫

リハビリテーション部

1. 長崎大学（平成13年卒）
2. リハビリテーション、骨粗鬆症、廃用予防
3. 平成29年の70歳以上人口は総人口の約20%で約5人に1人が70歳以上となり、患者さんの年齢も年々高くなっています。加齢に伴い、治療の直接的影響だけでなく、安静による廃用や肺炎などの合併症の危険性も高まります。そのため、様々な診療科と連携を取り身体活動を維持・改善し社会復帰を目指して早期から積極的にリハを実施しています。特にリスクの高い外科手術やがんの化学療法では療法士を専属配置し治療開始前からリハビリを開始するなど重点的に取り組んでいます。

平成30年4月1日就任



教授
よしだ しげお
吉田 茂生

眼科

1. 九州大学（平成5年卒）
2. 糖尿病網膜症、裂孔性網膜剥離、加齢黄斑変性などの網膜硝子体疾患
3. 2018年4月より久留米大学病院眼科診療部長を担当させて頂くことになりました。眼科では、現在9つの臨床グループに専門家を配置して多様な眼疾患に対応し、大学病院として高度医療を提供する体制を整えています（前眼部・角膜外来、緑内障、ぶどう膜炎、網膜硝子体、糖尿病、黄斑、外眼部・眼瞼形成、神経眼科、斜視・弱視）。硝子体手術、緑内障手術、角膜パーツ移植術、白内障手術など、地域医療の最終機関として難症例の手術治療も積極的に行っています。外来では糖尿病黄斑浮腫や加齢黄斑変性等の眼底疾患に対する抗VEGF硝子体注射治療も多数行っています。さらに、難治性眼感染症網膜のPCR検査システムも導入しました。またこの度病診連携を充実させる目的でアザレアネット（久留米診療情報ネットワーク：八女筑後、佐賀とも連携済み）によるインターネット回線を用いた地域医療連携システムの運用を開始しました。地域が一体となった理想的な地域医療連携体制をめざしていきたいと思います。今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

・久留米大学医学部眼科学講座ホームページ・公式Facebook
<https://www.kurumeeye.com/>

・患者様向け久留米大学病院眼科の紹介ビデオ
https://www.youtube.com/watch?v=DgyEi5_SyyQ

紹介予約センター紹介実績

医療機関の先生方、医療連携ご担当の皆様におかれましては、いつも紹介予約センターをご利用いただき、お礼申し上げます。

紹介予約センターは、平成26年2月17日から運用開始をしました。ご紹介いただく先生方から、様々な助言、ご指摘を受けながら改善を図ってまいりました。まだ不十分な点もございますが、お電話での予約が可能な診療科を増やし、5つの診療科では患者直接予約を開始いたしました。ファクス受付においてはお申込みから受診日決定のご連絡までを短くするよう鋭意努力してまいります。今後とも、紹介予約センターをご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

月別紹介予約件数表

月別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
年度別	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
FAX件数	722	878	839	942	915	935	811	907	753	841	778	889	736	830
電話件数	273	281	284	330	288	323	307	308	288	335	278	300	281	328
電話割合(%)	27.4%	24.2%	25.3%	25.9%	23.9%	25.7%	27.5%	25.3%	27.7%	28.5%	26.3%	25.2%	27.6%	28.3%
合計件数	995	1,159	1,123	1,272	1,203	1,258	1,118	1,215	1,041	1,176	1,056	1,189	1,017	1,158
月別	11月		12月		1月		2月		3月		合計			
年度別	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度		
FAX件数	694	783	690	730	749	764	749	713	923	948	9,359	10,160		
電話件数	262	308	232	283	328	301	308	324	335	384	3,464	3,805		
電話割合(%)	27.4%	28.2%	25.2%	27.9%	30.5%	28.3%	29.1%	31.2%	26.6%	28.8%	27.0%	27.2%		
合計件数	956	1,091	922	1,013	1,077	1,065	1,057	1,037	1,258	1,332	12,823	13,965		